

摘 録

会 議 名 令和6年度第1回刈谷市歴史博物館協議会

日 時 令和6年6月4日（火） 午後4時00分～5時30分

場 所 歴史博物館 1階講座室

出 席 者 協議会委員：西宮秀紀（会長）、堀江登志実、山田孝、真島聖子、金子一郎、戸田和晃、丸山佐智、成田年秀

※山本智子委員、丹羽陽三委員は欠席（敬称略）

事 務 局：宮田部長、石川課長、田代館長、新田館長代理、長澤学芸員、山下学芸員

内 容

1 あいさつ

2 議題

（1）令和5年度の状況について

<企画展について>

（A 委員）観覧者数を見ると他の展覧会ももっと入るかと思ったが、巡回展の北斎漫画が多く入ったという印象がある。

（B 委員）（北斎漫画展パスポートに関連して）企画展では展示替えもあるが、どれくらい2回目（後期）を見に来る人がいるのか。それを考えるとパスポートでなくとも2回目は少し値引きをするというのもありではないか。

（事務局）前期を見て後期をとという方もいる。北斎漫画に関しては毎週丁替えをしたことから、すべてを観たいという人のために実験的に用意してみた。今後は展示替えの規模にもよるが、前後期の両方を観られるような形の配慮は考えていきたい。

（C 委員）大学によっては大学の負担もあると思うが、学生証を見せると学生が無料で入館・拝観できるところがある。刈谷市のお膝元は愛知教育大学で、昨年度は井ヶ谷古窯展のイベントや授業の一環などでも学生にも来てもらい連携を進めていることから、そのような仕組みがあると良い。（※補足：パートナーシップ制度のこと）

（事務局）愛知教育大学とも色んな活動で連携が出来るようになってきている。学生にもたくさん来てもらいたい思いがあるので、連携の取り組みを拡大しながら、企画展などにも足を運んでもらえるよう検討していきたい。

（D 委員）大学内で予算を取って博物館と協定を結ぶ。刈谷市歴史博物館はまだ出来て5年であるし、学長さんにもよる。断られる可能性もあるが、連携で予算取りが出来ないか一度交渉してみるのも良いと思う。

（事務局）検討していきたい。

<イベントについて>

（B 委員）姫たちの想いのお茶会関係者に聞いてみると、こんな良い施設なのかと驚かれていた。博物館に関心がなかった方が来てくれておりチャンスとも考えられるが、学芸員が飲食を伴うイベントに難色を示していると聞く。その辺りはどのように考えているか。

(事務局) 一番の問題は虫が入ってくること。飲食をすることでこぼれたものや匂いに虫が寄ってきて、例えば重要文化財などが展示してある部屋に虫が行ってしまうというういことは問題。ただ、ひめ茶会を講座室で行ったように、その部屋の中だけで完結するものであればそこまで問題ないとも思う。

(D 委員) 催しとして飲食が入ると華やかになる。その宣伝効果と虫の問題の兼ね合いをどう上手くやっていくかは博物館の腕の見せ所。

(事務局) 飲食の施設が欲しいという話は以前から要望としてあるところだが、昨年度はイベントに合わせて実験的にキッチンカーを呼んだ。今年度は、他課の応募事業に加わりキッチンカーを希望期間において常時募集することを行っていて、そのような取り組みも進めている。

<資料の寄託について>

(E 委員) 博物館資料の購入もさることながら、市指定の文化財などより積極的に寄託を促していくことも良い。現地保存が大事だとも言われるが、温湿度の整ったより良い環境で資料を預かる方が長い目でみると良いのではないかとも思う。寄託に対する姿勢や取り組みについて聞かせてもらいたい。

(事務局) これまでは手が回っていなかったところがあった。指定文化財の所有者の方と連絡が取れず現況把握が不足していたが、昨年度から指定品の所蔵者と連絡を取り現状の把握が出来るよう、指定品の所在確認と保存していく上でのアドバイスができるよう文書を送るなどを始めたところである。寄託にもつながれば良いが、何かあれば博物館に連絡がもらえるよう、まずはその第一歩として所蔵者の方と顔の見える付き合いができるよう関係を築いていくことをスタートしたところである。

(2) 令和6年度の予定について

<巡回展の扱いについて>

(E 委員) 昨年度は巡回展を買い取って開催したが、学芸員の負担を減らすという意味で払った費用に見合う入館者数があったと思う。今後は、巡回展を買うというスタイルを取り入れるのか、あくまで学芸員の企画で地域の歴史に沿った展示を中心に進めて行くのか、今後の方針を伺いたい。

(事務局) 基本的には市立の博物館なので、地域にゆかりのある資料を扱った企画展を中心に行っていきたい。ただし、各学芸員の専門とからめて企画から入っていけるような巡回展があれば、折を見て組み込んでいくこともやぶさかではない。良いものを見ていただきたいという思いもあり、それを近くで提供するという役割も求められていると思う。巡回展のパッケージは、当館の展示室の規模に合うものが少ないという課題もあるが、機会があればそういったことにも挑戦していきたい。

(E 委員) 地位の資料を中心に企画していくという方向性について承知した。一方で、市民のニーズとして特別なものが見たいという声もあると思うので、巡回展も織り交ぜて行ってもらえると良い。

<市史資料整理活用事業及び郷土資料館との連携について>

(A 委員) 資料の整理や寄贈の依頼があった際の調査は郷土資料館と博物館でどのように連携して行っているのか。現状では城町図書館も収蔵庫として活用しているということだが、こちらは郷土資料館の資料を納めているのか。

(事務局) 郷土資料館の学芸員は近代が専門で、博物館兼務となっている。実質、一体となって整理を行っていく。郷土資料館に寄贈の申し出があった場合も、郷土資料館の学芸員と博物館の学芸員の2名以上で出向き、協同して調査を行っている。資料の保管場所は資料毎に異なるが、基本的には全て博物館資料として登録し、一元管理をしている。

(B 委員) これに関連し城町図書館の民具については、どういうものがあるのか調査や記録はされているか。今までの郷土資料館の人たちが作った目録だけなのか。

(事務局) 元々、郷土資料館で作られた目録をベースとして資料を収蔵品管理システム(データベース)に登録して管理を行っており、新たな知見があればそれを追記できるようになっている。ただし、新たな知見を付け加えることまでは民俗の専門がないので現状では難しい。

(A 委員) 民俗の資料は、よく相談があると想像されるが、全部引き受けるとすぐ収蔵庫がいっぱいになってしまう。取捨選択も必要だが、実際に収蔵庫のキャパシティや問い合わせの状況はどうか。

(事務局) 問い合わせは多く、見に来て欲しいという話もよくあるため都度見に行っているが、既に収蔵しているものが多く、お断りするケースも多くなってきている。キャパシティの問題もあるので、これはというものに限って選択しながら受け入れている状況にある。

(A 委員) 都度対応にはなと思うが、ある程度の線引き・目安を作っておくと良い。

(B 委員) 寺横の新しい収蔵庫は燻蒸もやっていくのか。

(事務局) 引き続き燻蒸は行う予定。

<戦争体験の聞き取りについて>

(D 委員) 続けてやってもらいたいのが、戦争体験を語れる人は少ない。戦後10年くらいを含めた体験の聞き取りをやってもらいたい。戦後教育についてもっと調べなければいけないし、学校は学校日誌が永久保存でなくなり廃棄して良いことになった。残っている学校があるなら今のうちに収集できると良い。

(事務局) 戦後も含めてできるだけ調査・聞き取りを進めていきたい。学校の資料については、毎年度末に学校に向けて文書を送り廃棄する資料があれば御一報をとお願いしている。校長会で説明する機会もあるので、学校日誌についても説明し、お願いしていきたい。

<小中学校の見学、アウトリーチプログラム、出前講座について>

(F 委員) アウトリーチプログラムと出前講座について、まず、小学校は社会科の教員が5・6年に必ずしもいるわけではない。自主研などで学んだ内容やアウトリーチの情報について学校に持って帰っても、それを広め切れていないという現状にある。また、授業の単元とのタイミングが課題。例えば縄文のことについてアウトリーチをお願いしたいと思っても、中学校1年生の見学の時期と重なるので、学芸員も忙しいと予想され遠慮してしまう。

(事務局) 見学があるなど難しい時期もあるが、まずは調整ができればと思うので、お声がけいただきたい。

(G 委員) 中学校の場合は、5～7月の決まった時期に見学が行事として盛り込まれている。今年度は全6校のうちすべての学校は出来ないのでは4校が企画展開催期間中の見学となっている。毎年企画展が見られないという学校が出ないよう調整しており、これまで一回も企画展に当たったことがない学校について、今回は当たるように校長会で調整をしてもらった。一方で、一学期に中学校の見学が入っているのでは、小学校側が遠慮されるということはあるだろう。見学には学芸員も2人ついてもらっているのでは、人手が足りないことは予想され、二の足を踏むということになる。

(C 委員) 学校と博物館のきめの細かい連携が必要だろう。

(事務局) 相談があれば調整も可能なのでは、まずは指導主事を通じて連絡してもらいたい。

(H 委員) 出前講座に関しては、昨年度、学芸員による住民向けの出前講座があり東境の歴史について話してもらった。地域の歴史について初めて知ることもあり、出前講座で色々な地域の歴史を学ぶ機会があるというのはとても良いと思う。

(3) その他

<購入資料について>

今年度購入資料2点について、見学と解説を行った。

<委員の任期について>

今年の12月までであることを説明した。

<次回の協議会日程について>

(事務局) 次回は令和7年1～2月頃に開催する。

<企画展の見学会について>

会議終了後、時間のある方に残っていただき、開催中の企画展「めでたきとり」の見学会を開催し、学芸員による解説を行った。(4名参加)